

発明の名称:

哺乳動物細胞への遺伝子導入効率の向上剤

利用・用途・応用分野

哺乳動物細胞の形質転換

目的・課題

哺乳動物細胞への遺伝子導入効率の向上剤や、哺乳動物細胞への遺伝子導入効率の向上方法や、哺乳動物細胞の形質転換方法を提供することを目的とする。

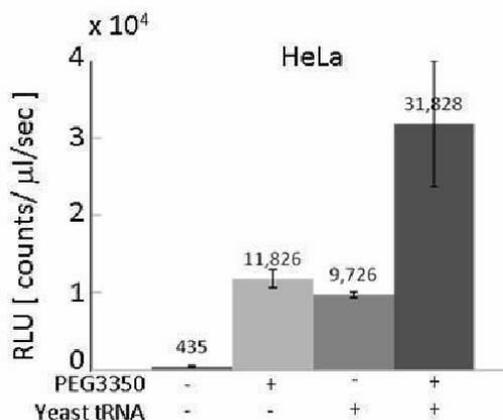
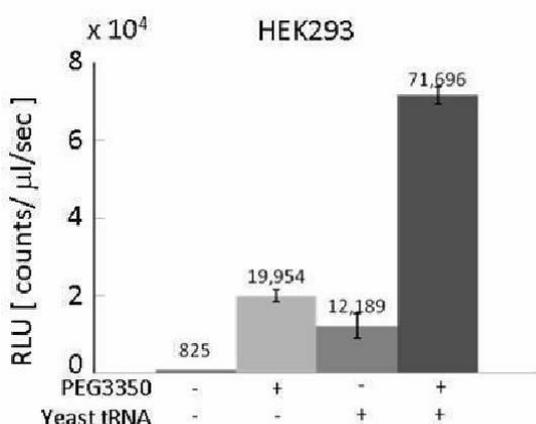
解決ポイント

tRNAをリポフェクション試薬と併用すると哺乳動物細胞への遺伝子導入効率を顕著に向上させ得ることを見いだした。好適には、リポフェクション溶液中のtRNA濃度が3~50 $\mu\text{g}/\text{mL}$ の範囲内であって、培養液中の濃度が約1/10になるように用いることができる。より好適には、tRNA及びPEGをリポフェクション試薬と併用することができる。

研究概要・アピールポイント

本発明の遺伝子導入効率の向上剤や、遺伝子導入効率の向上方法によると、哺乳動物細胞への遺伝子導入効率を顕著に向上させることができる。

また本発明の哺乳動物細胞の形質転換方法によると、哺乳動物細胞の形質転換を高効率で行うことができる。



リポフェクション試薬及びtRNAにPEGをさらに添加することによる相乗効果の結果を示す図

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp